

# 運用報告書(全体版)

第7期

(決算日：2018年10月25日)

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要運用対象	投資信託証券(投資信託の受益権または受益証券および投資法人の投資証券をいい、外国投資信託の受益権または受益証券および外国投資法人の投資証券を含みます。以下同じ。)を主要投資対象とします。
組入制限	① 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③ 株式への直接投資は行いません。 ④ デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤ 投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

## ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2018年10月25日に第7期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 SBI Asset Management

SBIAセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
		税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
3期(2014年10月27日)	13,801	1,800	28.5	98.2	662
4期(2015年10月26日)	13,611	1,000	5.9	98.3	1,834
5期(2016年10月25日)	10,700	300	△ 19.2	98.6	1,506
6期(2017年10月25日)	13,430	700	32.1	98.5	1,984
7期(2018年10月25日)	12,365	0	△ 7.9	96.9	1,985

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

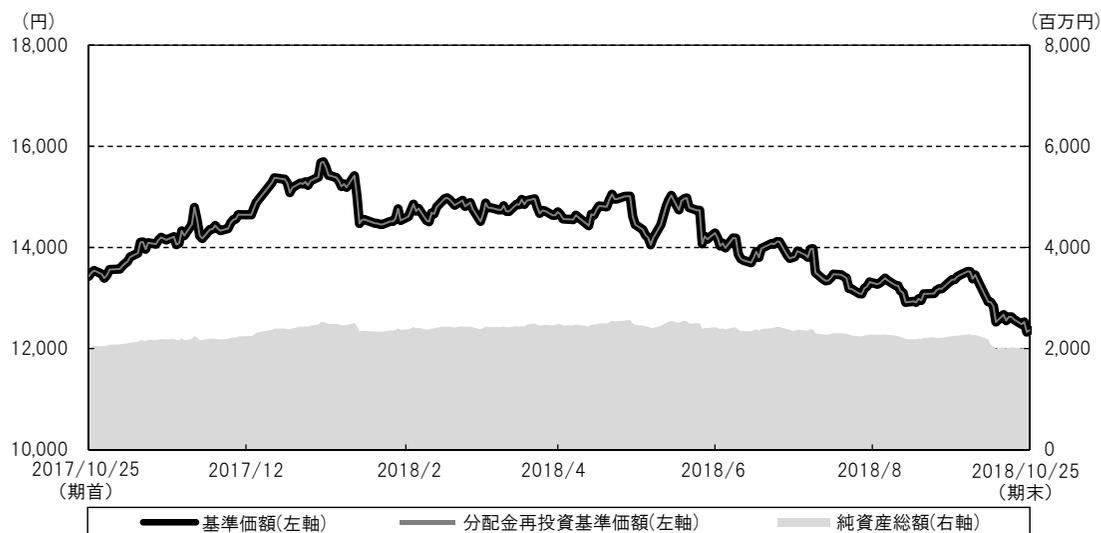
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
	騰落率		
(期首)	円	%	%
2017年10月25日	13,430	—	98.5
10月末	13,392	△ 0.3	98.3
11月末	14,325	6.7	98.5
12月末	14,894	10.9	98.7
2018年1月末	15,207	13.2	98.2
2月末	14,854	10.6	98.3
3月末	14,784	10.1	98.3
4月末	14,563	8.4	97.5
5月末	14,055	4.7	97.4
6月末	13,992	4.2	98.1
7月末	13,806	2.8	98.8
8月末	13,347	△ 0.6	99.0
9月末	13,454	0.2	100.5
(期末)			
2018年10月25日	12,365	△ 7.9	96.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2017年10月26日から2018年10月25日まで）

### ○基準価額等の推移



期 首：13,430 円

期 末：12,365 円（既払分配金(税込み):0 円）

騰 落 率：△7.9%（分配金再投資ベース）

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2017年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の上昇、為替の円安進行など

#### 下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の下落、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速への懸念による世界的な株価急落、為替の円高進行など

## ○投資環境

※以下の内容は、本ファンドの主要投資対象である「ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンド クラス」受益証券（以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。）を運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

### 2017年10月から2018年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境（株式市場・外国為替市場）

当期のアジア株式市場は、主に2つの事象によって不安定な動きとなりました。1つ目は、市場が1月にピークを迎えて、利益確定売りによって下落基調で推移したことです。「5月に売り抜ける」の相場格言と符号するように、5-6月の市場は大きく下落し、軟調な展開となりました。中国のように時価総額が比較的大きな市場では、昨年の堅調な経済指標による好ましいニュースフローから一転して、米中貿易戦争の懸念に見舞われました。その後は米中の激しい応酬へと発展し、中国市場に大きな影響を与え始めました。特に、中国A株市場の銘柄は、成長鈍化や流動性の影響を懸念する投資家心理の悪化を受けて売られました。

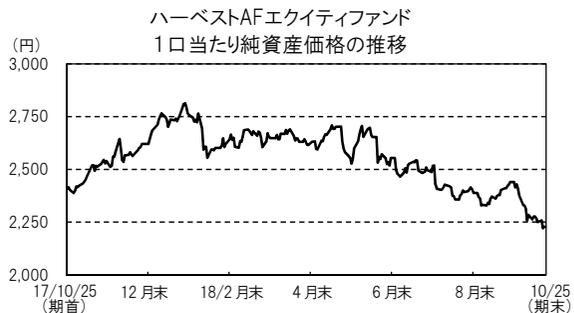
2つ目は、米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利の本格的な引き上げ局面に入ったことにより、日本を除くアジア市場全体と、アジア・フロンティア市場の通貨の動向が類似し、これらの通貨が対米ドルで弱含んだことです。こうした通貨安は、アジア域内やアジア・フロンティア市場における投資家のリスク選好度をさらに低下させました。しかしながら、投資家のリスク選考の全てが失われたわけではなく、いくつかのフロンティア市場はプラスのリターンとなりました。

個別で見ると、ベトナム市場では外国人による保有制限の引き上げや銀行・不動産セクターにおける大規模な新規上場（IPO）によって、外国人投資家が急増しました。この外国人投資家の市場参加率急増により、過去最高値を更新するなどアジア・フロンティア5カ国で最も高いリターンを上げました。また、4月からの利益確定売りにもかかわらず、ベトナム市場が依然としてプラスの収益率となったのは、米中貿易戦争に直面した製造業者が製造拠点を多様化させることによって、ベトナムが潜在的な受益者となる可能性があることに投資家が着目したためです。

バングラデシュ市場は、中央銀行が市中銀行に対して預貸率を引き下げるように指示を出したため、金融システムにおける流動性逼迫懸念から、軟調に推移しました。このような動きによって銀行間での預金獲得競争が激化し、銀行は大幅な預金金利の引き上げを迫られました。こうした比較的高い預金利率は当面維持され、米国の利上げと相まって、バングラデシュ経済に大きな影響を与えました。現在、流動性の逼迫懸念は和らいでおり、市場の注目は第4四半期に予定されている総選挙に移行しました。

スリランカ市場も、バングラデシュ市場と同様に軟調に推移しました。スリランカ市場は投資家の関心が低下したことや、米国の利上げと原油高の悪影響が相まったことが下落の要因となりました。また、スリランカの景気減速の一因は、現大統領による国家財政の不適切な管理を野党側が告発したことによるものでした。

一方、銅や石炭などのコモディティ価格の回復は、カザフスタン市場やモンゴル市場などコモディティ主導の市場の収益率を大きく押し上げました。しかしながら、米中をはじめとする貿易戦争が世界経済の成長を鈍化させるとの



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬（固定報酬・成功報酬）控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア 株式ファンド」の基準価額に反映されます。

見通しから、利益確定売りに押されました。特にカザフスタン市場の下落は、株価指数に占める比重の大きい銅生産企業が政治的に複雑な背景を持つロシア企業の買収を突然発表したことを受けて、同銘柄の急落が足かせとなったものです。

## ○当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第7期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託（円建て）「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組み入れています。当期の基準価額（分配金込み）は△7.9%の下落となりました。

以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのポートフォリオについてです。

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

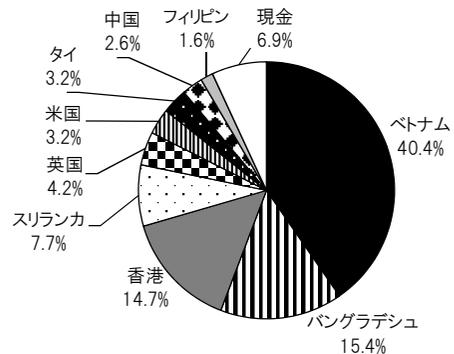
当期のハーベスト AF エクイティ・ファンドは、絶対収益ベースで約+5%のリターンを上げました。中国とバングラデシュといった市場におけるフロンティア関連株式の銘柄選択効果が主に当ファンドの収益にプラスに寄与しました。

中国関連銘柄に関しては、カンボジアやベトナムに工場を保有し、スポーツウエア・メーカーから記録的な受注を獲得しているシェンジョウ・インターナショナルのような一般消費財セクターの保有銘柄がもっとも堅調に推移しました。

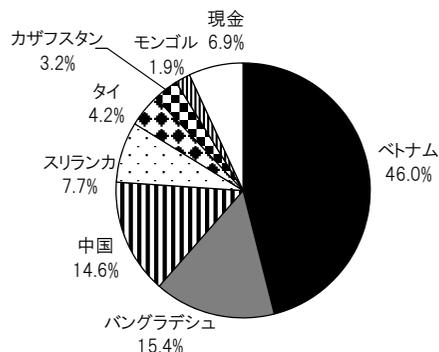
バングラデシュ銘柄に関しては、生活必需品セクターのようなディフェンシブセクターが、ファンド収益を下支えしました。

当期の株式市場は価格変動率が大きくなりましたが、流動性の観点からみた取引環境は、比較的良好な日も悪い日も同程度の地合いとなりました。

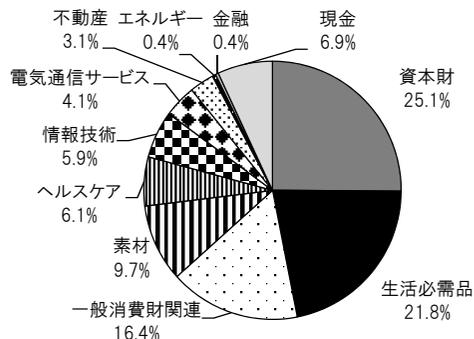
投資市場別構成比率（2018年9月末現在）



投資対象国・地域別構成比率(2018年9月末現在)



セクター別構成比率(2018年9月末現在)



組入上位5銘柄 (2018年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
ベトジェットエア	ベトナム	資本財	10.5%
ベトナムデイリー	ベトナム	生活必需品	8.7%
シェンジョウ・インターナショナル・グループ・ホールディングス	ベトナム	一般消費財関連	5.7%
ベトナム空港総公社	ベトナム	資本財	5.5%
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	4.6%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定していません。

## ○分配金

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額（配当等収益額から経費等を控除）を算出し、市況動向や基準価額の水準などを考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 7 期
	2017年10月26日～ 2018年10月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,364

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

## ○今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。

### <ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2018年も終盤に入り、11月初めに行われる米国の中間選挙が近づくにつれて、貿易戦争に関する報道が市場を動かすのではないかと警戒しています。悲観的な外部環境の中、バリュエーションが魅力的との観点から下支えされ、市場が安定していることによって、慎重ながらも楽観視するという我々の見立てが現実化し始める可能性があります。

企業の業績が発表され始め、前四半期は良好な内容が報告されています。長期的には堅調な企業業績が評価され、相対的に過小評価されたアジア市場が引き続き他の地域を上回る収益率を上げると考えています。しかしながら、アジア域内のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が我々の見立て通りにならず、弱気相場で買い向かうことになった場合、私たちは引き続き市場を注意深く見守り、利益確定売りを行います。今年の戦略のスローガンは「弱気相場で買い、強気相場で売る」となりそうです。

我々は引き続き、投資資金フローの観点から、比較的規模の小さい東南アジア市場やアジア・フロンティア市

場は、世界経済の成長の恩恵を受け始めるという見方を示しています。また、米国と中国の貿易戦争が勃発した場合、米国と中国の企業は生産を分散し、アジア・フロンティア地域からそれぞれ調達する必要があるかもしれません。

製造業、インフラ、消費、観光といった我々の構造的・長期的な投資テーマは、引き続き変わっておりません。米中貿易戦争や米国の利上げなどによる短期的な先行き不透明感は、依然として続くでしょう。短期的にはアジア市場は二番底を見に行くと思われていますが、アジア・フロンティア市場はアジア市場に比べて世界の投資マネーの影響を受けにくく、時価総額の比較的大きいアジア域内の他市場の収益率を上回る可能性があることから、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。

アジア・フロンティア市場は、依然として外国人投資家による十分な投資が行われていない状態が続いています。米中貿易戦争が解決しない場合、中国からアジア・フロンティア地域へ製造業の雇用の移転が加速し、そうした事象によりアジア・フロンティア市場の株価が下支えされたとしても、驚くようなことではないと考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2017年10月26日～2018年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 206	% 1.447	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	( 92)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	( 108)	(0.756)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファン ドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	( 6)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	12	0.085	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益 権口数
(監 査 費 用)	( 3)	(0.021)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係 る費用
(印 刷)	( 9)	(0.064)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	218	1.532	
期中の平均基準価額は14,222円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

○売買及び取引の状況

(2017年10月26日～2018年10月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国(邦貨建)	ハーベスト・アジアフロンティア エクイティファンド クラスJ	口	千円	口	千円
		118,950	310,000	72,074	170,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月26日～2018年10月25日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年10月25日現在)

### (1) 国内投資信託証券

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	口 988,578	千円 980	% 0.0
合 計	988,578	980	0.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 外国投資信託証券(邦貨建)

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
ハーベスト・アジアフロンティア エクイティファンド クラスJ	口 863,176	千円 1,923,081	% 96.9
合 計	863,176	1,923,081	96.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2018年10月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,924,061	% 95.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	82,193	4.1
投 資 信 託 財 産 総 額	2,006,254	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況(2018年10月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,006,254,936
コール・ローン等	82,193,153
投資信託受益証券(評価額)	1,924,061,783
(B) 負債	21,054,686
未払解約金	3,207,070
未払信託報酬	16,959,681
未払利息	225
その他未払費用	887,710
(C) 純資産総額(A - B)	1,985,200,250
元本	1,605,534,184
次期繰越損益金	379,666,066
(D) 受益権総口数	1,605,534,184口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,365円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>  
(貸借対照表関係)

期首元本額	1,477,463,158 円
期中追加設定元本額	741,149,030 円
期中一部解約元本額	613,078,004 円

○損益の状況(2017年10月26日～2018年10月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 48,262
支払利息	△ 48,262
(B) 有価証券売買損益	△ 190,163,988
売買益	7,177,915
売買損	△ 197,341,903
(C) 信託報酬等	△ 35,718,414
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 225,930,664
(E) 前期繰越損益金	51,231,073
(F) 追加信託差損益金	554,365,657
(配当等相当額)	( 29,189,141)
(売買損益相当額)	( 525,176,516)
(G) 計(D + E + F)	379,666,066
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	379,666,066
追加信託差損益金	554,365,657
(配当等相当額)	( 29,189,141)
(売買損益相当額)	( 525,176,516)
分配準備積立金	51,253,378
繰越損益金	△ 225,952,969

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(328,412,688円)および分配準備積立金(51,253,378円)より分配対象収益は379,666,066円(10,000口当たり2,364円)ですが、当期に分配した金額はありません。

<参考情報>

主要投資対象の投資信託証券の概要

ファンド名	ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ
ファンド形態	香港籍外国投資信託証券（円建て）
運用方針	主にバングラデシュ、モンゴル、カザフスタン、スリランカ、ベトナム等の企業及び当該各国で主な事業展開をする企業の上場株式等*に投資します。また、香港やシンガポール等の証券取引所に上場する、流動性の高いフロンティア関連企業及び今後成長が見込まれる中国西部のフロンティア地域（内モンゴル、チベット、新疆、雲南等）の株式等にも実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。 ※一部、上場予定の未公開株式及び債券等に投資する場合があります。
信託期間	原則として無期限
決算日	毎年12月31日（香港の銀行が休業日の場合は前営業日）
信託報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.65%
関係法人	管理会社：ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド（香港）
	保管会社、管理事務代行会社：BNPパリバ・セキュリティーズ・サービスズ（香港）
	受託銀行：BNPパリバ・トラスト・サービスズ（香港）リミテッド

ファンド名	FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)
運用方針	主として、「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。
信託期間	原則として無期限
決算日	毎年9月25日（日本の銀行が休業日の場合は翌営業日）
信託報酬	ファンドの純資産総額に対し年0.1404%（税抜0.13%）
投信委託会社	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
受託銀行	三井住友信託銀行株式会社

■ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJの状況

2018年10月25日現在入手している最新（2017年12月31日現在）の状況です。

○保有有価証券明細（2017年12月31日現在）

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
Listed equities securities			
<b>BANGLADESH</b>			
BATA SHOE COMPANY BANGLADESH LIMITED	31,468	443,333	2.16
BRITISH AMERICAN TOBACCO BANGLADESH COMPANY LIMITED	23,377	956,047	4.66
GRAMEEN PHONE LIMITED	115,573	654,184	3.19
HEIDELBERGER CEMENT BANGLADESH LIMITED	75,327	384,808	1.87
LINDE BANGLADESH LIMITED	30,150	465,689	2.27
SQUARE PHARMACEUTICALS LIMITED	157,233	570,519	2.78
		<b>3,474,580</b>	<b>16.93</b>
<b>BRITAIN</b>			
KAZ MINERALS PUBLIC LISTED COMPANY	170,826	<b>2,061,330</b>	<b>10.04</b>
<b>CANADA</b>			
TURQUOISE HILL RESOURCES LIMITED	107,873	<b>368,926</b>	<b>1.80</b>
<b>CHINA</b>			
ANGANG STEEL COMPANY LIMITED	200,000	182,927	0.89
CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LIMITED	194,000	391,607	1.91
HUANENG POWER INTERNATIONAL INCORPORATED	512,000	320,928	1.56
TENCENT HOLDINGS LIMITED	9,800	508,972	2.48
		<b>1,404,434</b>	<b>6.84</b>
<b>HONG KONG SAR</b>			
HONG KONG TELEVISION NETWORK LIMITED	500,000	213,628	1.04
SHANGRI-LA ASIA LIMITED	142,000	322,243	1.57
		<b>535,871</b>	<b>2.61</b>

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
<b>MACAU</b>			
SANDS CHINA LIMITED	56,800	293,179	1.43
<b>SRI LANKA</b>			
ASIRI HOSPITAL HOLDINGS PUBLIC LISTED COMPANY	983,288	156,301	0.76
CEYLON COLD STORES PUBLIC LISTED COMPANY	83,468	516,523	2.52
CEYLON TOBACCO COMPANY PUBLIC LISTED COMPANY	58,245	364,306	1.77
CHEVRON LUBRICANTS LANKA PUBLIC LISTED COMPANY	226,766	175,799	0.86
DIALOG AXIATA PUBLIC LISTED COMPANY	4,670,521	395,549	1.93
JOHN KEELLS HOLDINGS PUBLIC LISTED COMPANY	339,815	328,746	1.60
		<u>1,937,224</u>	<u>9.44</u>
<b>TAIWAN</b>			
FIT HON TENG LIMITED	523,000	353,915	1.72
<b>VIETNAM</b>			
DHG PHARMACEUTICAL JSC	119,350	604,397	2.95
SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORPORATION	71,690	787,015	3.83
VIETJET AVIATION JSC	186,984	1,208,739	5.89
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	215,730	1,981,649	9.65
VINCOM RETAIL JSC	225,820	468,863	2.28
		<u>5,050,663</u>	<u>24.60</u>
<b>Total Listed equities securities</b>		<u>15,480,122</u>	<u>75.41</u>
<b>Depository receipts</b>			
<b>KAZAKHSTAN</b>			
KAZMUNAIGAS EXPLORATION PRODUCTION JSC	59,982	779,766	3.80

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
<b>THAILAND</b>			
AIRPORTS OF THAILAND PUBLIC COMPANY LIMITED	221,800	462,793	2.25
		<hr/>	<hr/>
Total depository receipts		1,242,559	6.05
		<hr/>	<hr/>
<b>Derivatives</b>			
<b>LUXEMBOURG</b>			
VIETJET AVIATION JSC	119,924	765,895	3.73
		<hr/>	<hr/>
Total derivatives		765,895	3.73
		<hr/>	<hr/>
<b>Unlisted equities securities</b>			
<b>VIETNAM</b>			
AIRPORTS CORPORATION OF VIETNAM JSC	361,500	1,727,190	8.41
SOUTHERN AIRPORTS SERVICES JSC	288,100	375,523	1.84
		<hr/>	<hr/>
Total Unlisted equities securities		2,102,713	10.25
		<hr/>	<hr/>
Total investment, net		19,591,289	95.44
Other net assets		937,021	4.56
		<hr/>	<hr/>
Net asset attributable to unit holders		20,528,310	100.00
		<hr/>	<hr/>
Total Investments, at cost		13,442,976	
		<hr/>	<hr/>

## 貸借対照表

2017年12月31日

(米ドル)

### 資産

金融資産	19,591,289
その他未収金	305,598
現金、現金等価物	712,471
<b>資産合計</b>	<b>20,609,358</b>

### 負債

支払管理手数料	1,769
監査報酬	32,780
管理費	21,039
受益者への未払金	634
受託料	2,122
その他未払金	22,704
<b>負債合計</b>	<b>81,048</b>

### 純資産

**20,528,310**

## 包括的利益計算書

2017年1月1日から2017年12月31日

(米ドル)

### 収益

投資対象資産から得た収益	7,190,479
受取配当金	495,838
利息	2,362
その他利益	86
	<hr/>
	7,688,765
	<hr/>

### 費用

運営費用	7,556
監査報酬	21,999
保管費用	37,021
専門家報酬	18,441
管理報酬	156,664
その他費用	8,979
業務費用	159,095
受託報酬	9,068
支払利息	4
	<hr/>
	418,827
	<hr/>

税引前利益	7,269,938
所得税	(47,269)
	<hr/>
当期純利益	7,222,669

受益者に帰属する純資産の増加額	<hr/>
	7,222,669
	<hr/>

## ■ F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2018年10月25日現在入手している最新（第8期決算日（2018年9月25日現在））の状況です。

### ■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2017年9月26日~2018年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,930円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投 信 会 社)	( 11)	(0.108)	
(販 売 会 社)	( 1)	(0.011)	
(受 託 会 社)	( 2)	(0.022)	
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	
( 監 査 費 用)	( 0)	(0.002)	(b)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
( そ の 他)	( 0)	(0.002)	
合 計	14	0.145	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### ■ 組入資産の明細

#### 親投資信託残高

	当 期 首 (前 期 末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 5,988	千口 9,085	千口 9,210	千円 9,210

(注) 親投資信託の当期末における受益権総口数は8,059,144千口です。

## ■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 9,210	% 99.9
コール・ローン等、その他	10	0.1
投資信託財産総額	9,220	100.0

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2018年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	9,220,056円
コール・ローン等	9,285
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	9,210,735
未 収 入 金	36
(B)負 債	4,862
未 払 信 託 報 酬	4,715
そ の 他 未 払 費 用	147
(C)純 資 産 総 額(A - B)	9,215,194
元 本	9,289,891
次 期 繰 越 損 益 金	△74,697
(D)受 益 権 総 口 数	9,289,891口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	9,920円

## ■損益の状況 (自2017年9月26日 至2018年9月25日)

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	△4,989円
売 買 損	△4,989
(B)信 託 報 酬 等	△9,069
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	△14,058
(D)前 期 繰 越 損 益 金	△20,040
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△40,599
( 配 当 等 相 当 額 )	(353,075)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△393,674)
(F)計 ( C + D + E )	△74,697
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( F + G )	△74,697
追 加 信 託 差 損 益 金	△40,599
( 配 当 等 相 当 額 )	(353,010)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△393,609)
分 配 準 備 積 立 金	95,831
繰 越 損 益 金	△129,929

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産マザーファンド（第11期決算日（2018年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

## ■1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2017年9月26日~2018年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.003	(a) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(そ の 他)	( 0)	(0.003)	
合 計	0	0.003	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■組入資産の明細

### <国内(邦貨建)公社債>

#### (A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	300,000	300,610	3.7	—	—	—	3.7
(含む投資法人債券)	( 300,000)	( 300,610)	( 3.7)	( —)	( —)	( —)	( 3.7)
合 計	300,000	300,610	3.7	—	—	—	3.7
	( 300,000)	( 300,610)	( 3.7)	( —)	( —)	( —)	( 3.7)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ( )内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### (B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当 期	末		
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券 (含む投資法人債券)				
第424回中部電力株式会社社債	2.0	100,000	100,306	2018/11/22
第316回中国電力株式会社社債	2.075	100,000	100,167	2018/10/25
第358回中国電力株式会社社債	1.702	100,000	100,137	2018/10/25
合 計		300,000	300,610	

## ■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 300,610	% 3.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,869,434	96.3
投 資 信 託 財 産 総 額	8,170,044	100.0

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2018年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	8,170,044,750円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,867,177,742
公 社 債 ( 評 価 額 )	300,610,000
未 収 利 息	2,257,008
(B)負 債	28,432
未 払 解 約 金	10,036
未 払 利 息	17,997
そ の 他 未 払 費 用	399
(C)純 資 産 総 額 ( A - B )	8,170,016,318
元 本	8,059,144,217
次 期 繰 越 損 益 金	110,872,101
(D)受 益 権 総 口 数	8,059,144,217口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 ( C / D )	10,138円

## ■損益の状況 (自2017年9月26日至2018年9月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△8,436,303円
受 取 利 息	6,437,515
支 払 利 息	△14,873,818
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△6,423,000
売 買 損	△6,423,000
(C)そ の 他 費 用	△598,985
(D)当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△15,458,288
(E)前 期 繰 越 損 益 金	110,791,492
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	399,859,490
(G)解 約 差 損 益 金	△384,320,593
(H)計 ( D + E + F + G )	110,872,101
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	110,872,101

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。